

## 1 学校教育目標

○思いやりのある子 ○深く考える子 ○進んで実行する子

## 2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○児童が安心して学び、安全に楽しく学習や生活ができる学校 ○教職員がチームとしての力を発揮し、教育目標の達成に燃える学校 ○児童、保護者、地域社会から信頼される開かれた学校
○児童・生徒像	○溢れる意欲と基礎的な学力を身に付けた児童 ○心身共に健康で心豊かな児童 ○安全への意識をもち、たくましく生きる児童
○教師像	○専門職としての見識と、豊かな個性や人間性を身に付けた教師 ○児童を心から愛し、保護者、地域社会とともに児童の成長を喜びとする教師 ○チーム西一小としての責任感、協調性を有し、互いに資質・能力を高め合う教師

## 3 学校の現状及び前年度の成果と課題

### ◎学校の現状

- ・児童数は400名弱程度であるが、欠席が一日平均10人前後と少なく、児童は明るく元気である。自分からあいさつできる児童が増えてきている。
- ・教師の人間関係が良好で和やかであり、前向きで意欲的・協力的である。指導力を高めたいという意欲とチームで指導に当たろうとする意識がある。
- ・地域の方々の安全ボランティアの貢献は素晴らしく、それに応えようと努力する教職員が多い学校である。

### ◎前年度の成果

- ・全学年で算数習熟度別学習を中心にタブレットや電子黒板等を活用した授業を行った。操作にも慣れ、日常的に授業に活用もできるようになった。昨年度6月に学校独自で行った区学力調査の通過率は、国語 53.2%、算数 56.1%と低迷した。その原因を分析し、総力戦で学力向上に向けた取り組みを実践しつつ、12月に令和元年度の過去問題を行い、その分析、対策をとり、2月に令和2年度の過去問題を行った。その結果、国語 12月 66.0%⇒2月 68.4%、算数 12月 64.7%⇒2月 77.8%と、いずれもポイントを上げることができた。
- ・また、登下校指導や挨拶運動、地域安全ボランティアの方々の登下校見守りなど安全を確保するとともに交通安全や不審者対策への意識を高めた。
- ・コロナ禍で教育活動を工夫し、タブレットでの朝会や児童集会、HPでの動画配信、オンラインによる教材提供等、ICT活用を一気に進めた。

### ◎前年度の課題

- ・学習の定着度の個人差が幅広く、個に応じた宿題等をさらに検討していく。算数科では習熟度別学習に1年生以上が取り組みその成果が出ている。しかし、言語事項の理解度、読解力の不十分さが、算数科の文章問題に対して影響を与えている。児童の実態をスタート地点とした対策が必要である。
- ・学習習慣の確立されている児童も多いがそうではない児童も多く二極化の傾向がある。昨年度は家庭への啓発が進めにくかったこともあるので、基本的な生活習慣（早起き・早寝・朝ごはん）を確立させる必要がある。いずれの学年もゲームの時間が多く、就寝時刻が遅い。
- ・安全教育の充実を図るために、これまでの本校での取り組みを生かし、年間計画に基づき安全教育をさらに高めていく。エビペンやAEDの実地訓練は年度当初だけでなく、定期的に行い教員の意識の啓発を高めていくこと、また食物アレルギーに対する教職員の意識の高揚を図る必要がある。

## 4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		H30	R1	R2	R3	R4
1	学力向上アクションプラン	◎	◎	◎	◎	◎
2	心身共に健康で、心豊かな児童の育成	○	○	○	○	○
3	安全への意識を高め、たくましく生きる児童の育成	○	○	○	○	○
4						

## 5 令和3度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
確かな学力の定着		全体通過率を75%超える							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象児童 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 改善	・朝学習 (ベーシックタイム)	全児童 国語 算数	毎週火 (国語) 毎週水 (算数) 毎週金 (読書)	・担任：学習内容の復習、 確認 ・漢字スキル ・マイブック	・算数はベーシックドリル 診断テスト ・漢字はミニテストを実施	ミニテスト、診断テストで正答率80%以上			
2 改善	・放課後学習タイム	調査、単元テストなどで正答率70%未満の児童 国語・算数	4～6年(毎週木) 1～3年(毎週金)	・担任(中間層)、専科(下位層)の少人数指導 ・つまずきを遡り当該学年及び前学年の内容を学習	定着度確認テスト(12月、2月)	定着度確認テストで目標値を通過する割合80%			

3 継続	・西一タイム	単元テストなどで正答率70%未満の児童 国語・算数	毎週水5校時	当該学年の学習内容において定着が不十分な内容を学習	定着度確認テスト(12月、2月)	定着度確認テストで目標値を通過する割合80%			
4 新規	・ICTの活用	全児童	各教科・領域等	区の「指導上の目安」で示された項目を各学年で実施する。(基本操作・ワープロソフトなど)	実施状況について、7月、12月、2月に調査	2月の段階で80%以上			
5 継続	・復習タイム	全児童	算数単元テスト実施後の1時間	・担任(上位層)、専科(下位層)の少人数指導 ・テストの解説、訂正をおこない上位層は発展問題、下位層は基礎基本の確認	ベーシック診断テスト 定着度確認テスト(12月、2月)	定着度確認テストで目標値を通過する割合80%			
6 継続	・家庭学習がんばろう週間	全児童	月初め1週間	・家庭学習の提出率を確認 ・保護者への意識付け	年間3回の「生き生き生活週間」において学習時間の調査を実施	学校で設定した目標学習時間を95%の児童が達成			
7 新規	・学校図書館の活用	全児童	その都度	・年間3回の旬間 ・年間2回の先生による各学級への読み語り ・「調べる学習コンクール」での図書館の活用と作品の応募 ・各学年の年間計画への位置付け	学校図書館基本計画	1人当たりの年間貸し出し冊数、児童数の3倍 1ヶ月に2冊以上読む児童の割合50%			

重点的な取組事項－2		心身共に健康で、心豊かな児童の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
心豊かな児童の育成		以下8項目のA評価80%以上達成			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
・心身の健康づくりの奨励	○すくすく教室、健やか会議を各年間1回以上開催する。 ○歯磨きの取り組みを給食後毎日実施する。 ○縄跳びや持久走などの運動及び体力向上の取り組みを実施する。	・心身の健康づくりをめざし、健やか会議などPTAと連携して行う。 ・ウイルス感染対策を講じる必要があるため、社会の動向を注視しながら進める。 ・短なわ週間、長なわ週間で年間2回ずつ設け実施。			
・生活習慣の確立	○「いきいき生活週間」の取り組みを年間3回実施する。	PTAと共催で生活点検の取り組み「生き生き生活週間」を実施。保護者のチェックなどを依頼し、早寝、早起き、朝ご飯の徹底を図る。			
・豊かな体験活動による思いやりの心の育成	○PTAや地域と連携し、西一ふれあい祭りの企画運営を行う。 ○開かれ主催の親子で漢検の参加を120名以上めざす。	・凧祭り、西一祭り、親子で漢検の企画に積極的に児童にPRする。 ・西新井中学校にも小中連携の一環として吹奏楽部やバトミントン部にも参加を要請する。			
・「食」への自己管理能力の向上	○ランチルームでの食に関する指導を全学級年3回実施する。 ○給食残さい率1.8%以内を目指す。	・ランチルームではバイキング形式の配膳を試行する。 ・ランチルームの利用年間3回を計画する。 ・国際色豊かなメニューを栄養士と一緒に企画する。			

重点的な取組事項－3		安全への意識を高め、たくましく生きる児童の育成			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
安全意識の高揚		4項目のA評価80%以上達成			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
・保護者や地域関係機関と連携した保健・安全教育の推進	○避難訓練を年間11回実施。6年救急救命訓練（AED操作訓練含む）を実施。 ○薬物乱用防止教育（6年）自殺防止教育（5年）を年間1回実施。	・避難訓練年間11回、キッズぱれっと共催2回実施する。 ・消防署見学（3・4年）や消火訓練（4年）を行う。 起震車体験を行う。（5年）			
・地域安全ボランティア・保護者と共に児童の登下校の安全確保	○地域の方々、PTA 校外部と教員の下校の見守り年間2回実施。 ○年間3回の登校指導、あいさつ指導	・地域安全ボランティアへの感謝集会を11月に実施。 ・集団下校をPTAと連携し年間1回行う。 ・各学年及び教員で校門において朝あいさつ運動を行う。			

## 6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）